

平成25年度中山間総合対策本部スケジュール進行管理表

H25.8.21現在

中山間対策の目指す方向		「中山間地域でだれもが一定の収入を得ながら、安心して暮らし続けることのできる仕組みづくり」の推進 【生活を守る】【産業をつくる】											
区分	成果目標(目標とする状態)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中山間総合対策本部会議	・全庁を挙げた中山間対策の推進体制が確立され、重点テーマを中心とした各施策や事業の成果が発現されている。		○第1回本部会議(5/10) ・H25本部の目指す方向、運営のポイント、具体的な進め方等を確認			○第2回本部会議(8/21) ・H25中山間対策重点テーマの取り組み状況や課題、今後の進め方等の協議			第3回本部会議(11月下旬) ・H26予算編成に向けた中山間対策の強化ポイント等の協議			○第4回本部会議(2月下旬) ・H25中山間対策重点テーマの総括 ・H26中山間対策関連予算の確認 ・H26中山間対策重点テーマと推進体制の協議	
庁内連絡会議	・庁内の連携体制が構築され、的確な情報共有や連絡調整が図られている。	会議は必要に応じて随時開催 ・H25中山間対策の取り組み状況、課						○連絡会議(10月下旬) ・H25中山間対策の取り組み状況の情報共有 ・H26中山間対策関連予算の見積り作業依頼等			○連絡会議(2月下旬) ・H25中山間対策重点テーマの進捗状況や ・H26中山間対策関連予算の確認等		
集落活動センターの推進	全般	・研修会の開催 ・アドバイザーの派遣	【全体】第1回研修会(5/20) 【ブロック別】福多ブロック研修会(5/15) 坂本アドバイザー(5/13) 三原村・5/15研修 関司アドバイザー(5/20)研修	【ブロック別】仁淀川ブロック研修会(7/24) 松山アドバイザー(8/27)研修 関司アドバイザー(7/23津野町・7/28研修)				経営管理研修会(9/11) 一ブロック別研修会開催(随時・年10回程度)			第2回全体研修会(1月中旬)		
	実施地区・立ち上げ準備地区への支援	・H24設置のセンターの取り組みが進み、3年後の自立に向けた準備が進行している。また、H25設置予定のセンターが円滑に立ち上がり、住民主体の運営がスタートしている。 ・立ち上げの3年後には、当初予定の活動がフルベックで稼働している。	・「総合パッケージ」版ハンドブックの作成、改訂 ・庁内推進チーム会議での情報共有	「総合パッケージ」版ハンドブックの活用	・研修会の開催、アドバイザーの派遣(随時)								
	県内各地への更なる広がり	・センター実施市町村において次のセンター設置に向けた動きがスタートしている。また、未実施市町村において、市町村内の協議や地域での話し合いが進んでいる。	・市町村別支援チームによる支援(新たなチームの編成・支援地区の追加)	四万十市支援チーム会(4/17) 香南市支援チーム会(4/8)									
			・研修会への参加促進、アドバイザーの活用促進 ・市町村、地域への説明(「総合パッケージ」版ハンドブックを活用した普及・拡大)										
高知ふるさと応援隊の導入支援	・高知ふるさと応援隊を導入する市町村が増加するとともに、隊員の活動が活発に展開されている。		・県外募集説明会の開催 第1回開催(5/19東京、5/25大阪・移住相談会との合同開催) ・研修会、交流会の開催 ・ネットワークづくりの支援 安芸ブロックネットワーク立ち上げ(5/21)					一市町村の募集状況に合わせて開催(随時・移住相談会との合同開催等)→			第2回開催(1月下旬・移住相談会との合同開催)		
重点テーマ	小さなビジネスの推進	・それぞれの地域で、「小さなビジネス」の発掘、育成を促進し、中山間地域における住民力を高め、集落活動センターに繋がるなど、地域の元気づくりが進んでいる。	小さなビジネス調査表の作成(各地域本部)	小さなビジネス対応状況シートの作成(各地域本部)	庁内推進チーム会議	中山間総合対策本部で進捗状況の報告(中間報告)		地域での取り組みの実践(6月～)			庁内推進チーム会議	中山間総合対策本部で進捗状況の報告最終報告)	
	拠点ビジネスの推進	・地域アクションプランに位置付けている「拠点ビジネス」の取り組みについて、活動の強化が図られ、中山間対策のけん引役として、地域や集落の活性化に産業面から寄与している。 ・新たな「拠点ビジネス」の芽が育ち、取り組みが各地に広がっている。	地域アクションプランの実行支援チームによる「拠点ビジネス」のサポート、産業振興推進地域本部会議で新たな「拠点ビジネス」の可能性の検討		庁内推進チーム会議	中山間総合対策本部で進捗状況の報告(中間報告)					庁内推進チーム会議	中山間総合対策本部で進捗状況の報告最終報告)	
鳥獣被害対策	集落ぐるみの捕獲推進 ②わな捕獲技術講習会の実施	・わなの配布集落における ・農林業被害の軽減 ・集落ぐるみの捕獲体制の確立	わなの開発・製造 試作品の製造業者の募集 4/10 → 8社13点の応募 5/15 → わな選定委員会 3社3点を選定	モニタリング調査10人(女性・高齢者・若者・ベテラン猟師)	最終選定会議 7/9 わなの改良 1点に決定	新事業分野開拓者認定制度に応募	審査会 9/5	結果発表 9月下旬	わなの製作 集落へのわなの配布(5,000個)	配布集落でのわなのかけ方講習会(50ヶ所)	捕獲開始 狩猟解禁(11/15)	狩猟終了(3/15)	実績とりまとめ

区分		成果目標(目標とする状態)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
鳥獣被害対策(続き)	新規狩猟者の確保と捕獲技術の向上	新規狩猟者の確保(わな猟 500人) 捕獲技術の向上(1人当たり捕獲目標 8頭)	免許取得機会の拡大			新規狩猟者の掘り起こし 狩猟試験(夏期) 5会場 6/2高知市 6/13,14田野町 6/22,23四万十市 7/21高知市 8/24,25高知			わな配布市町村・集落での掘り起こし 出前試験4会場(安芸市、本山町、佐川町、宿毛市)		狩猟フォーラム(12/7)			
	狩猟技術講習会の実施 ・わな猟技術講習会(わな製作編等) ・止めさし・解体講習会		実技講習の実施			合格者数 124(H24:128) ※8/6現在			わな製作講習会(県内10ヶ所)		講習会(第2回)	講習会(第3回)	講習会(第4回)	
	野生鳥獣に強い集落づくりの推進	野生鳥獣に強い集落づくり事業による集落対策の強化 ・鳥獣被害対策専門員による地域支援の強化	重点集落の育成 重点集落の選定 5/16	重点集落募集	第1回集落全体会(被害対策の概要・事業説明等)	第2回集落全体会(住民アンケート、集落環境調査、自動カメラ設置結果報告及び意見交換等)	集落環境整備(有害鳥獣を集落に近づけない取組指導等)	集落勉強会(今後の計画策定等)	専門チーム会	専門チーム会	専門チーム会(総括)	重点集落の育成評価		
捕獲鳥獣の有効活用の促進	捕獲鳥獣の有効活用に向けた体制作りの強化	・狩猟者、食肉加工業者、料理提供店舗・地域グループ等との協働・連携	シカ肉等有効活用の推進	供給体制課題整理、対応策の検討	消費拡大に向けた課題整理、対応策の検討			食肉加工業者及び販売店等での販売・流通実態調査	レストラン、ホテル等料理店 農家民宿、地域グループ等料理提供店舗での加工販売に関する意向調査		ジビエ料理研究会の組織化によるメニュー研究・開発、人材育成	よさこいジビエフェアの実施(アンケート実施)		
事務作業		課題解決に向けた政策提言や要望が次年度の予算や国の制度改正に盛り込まれている。		第1回中山間総合対策本部会議(5/10)で取組状況等報告		第2回中山間総合対策本部会議(8/21)で取組状況等報告		市町村の取組状況の調査、更新	「中山間地域における移動手段確保対策の手引き」の改定		第3回中山間総合対策本部会議で取組状況等報告		第4回中山間総合対策本部会議で取組状況等報告	
移動手段の確保対策	市町村へのサポート	市町村の交通不便地域における、新たな移動手段の導入が進む。 (※H25予算要望のあった16市町村:馬路村、安芸市、香南市、香美市、南国市、高知市、土佐市、日高村、仁淀川町、須崎町、中土佐町、四万十町、黒潮町、四万十市、宿毛市、土佐清水市)	H25補助申請	市町村の地域公共交通会議等出席	過疎地有償運送等講習会(6/24、10名参加) 福祉有償運送講習会(6/29~30、7名参加)	先進地視察研修開催(岡山県津山市、高梁市、玉野市8/27(火)~28(水))	要望のあった市町村や研修に参加できなかった市町村に対して出張ミニ研修(個別研修・相談)を実施(7/24須崎市)	平成26年度市町村要望調査	平成26年度予算要求				完了検査・実績報告	
	補助金以外の事業	住民の利便性向上の視点に立った地域交通の見直しを市町村で行われる。	中山間地域移動手段アドバイザー(8名)の派遣(随時)											